

## 遊行寺吟行

高坂 義郎

お迎えは銀杏黄葉の古刹かな  
名利に卵塔ずらり秋深む  
じつと見る国宝絵巻秋の寺

伊保 朝夫

秋麗一遍聖絵甦り  
遊行寺に卵塔多し銀杏散る  
東海道漫ろ歩きに秋惜しむ

伊保 量子

遊行寺や銀杏黄葉が見守りつ

大貫 玉美

厳島一遍参詣図秋深し  
紅葉降りよろず命の供養塔

草薙 祐子

卵塔へ続く満天星紅葉かな

頬に風桜紅葉の道行かば

浄土への道遠からず桐一葉

木漏れ日に吐息をひとつ二遍忌

ゆく秋や聖絵巻に影移し

堀美知子

银杏黄葉踊り念仏姿かな

大寺のひと日満点星紅葉かな

どんぐりや孫の手を取り唄歌う

本杉 純生

聖絵の白の際立つ暮の秋

一遍の涅槃の図絵に秋惜しむ

判官の墓はいづこや赤とんぼ